

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2017.5.1

No.169

平成29年市議会第1回定例会

- ・過去最高を更新
一般会計197億7,000万円ほか
各会計新年度予算案を可決

旧伊深村役場庁舎(国登録有形文化財)

主な内容

- ◆定例会の審議結果…… 2～4P
- ◆平成29年度予算審査の概要
…………… 5・6P
- ◆委員会審査の概要
文教民生常任委員会……… 7P
企画建設常任委員会……… 8P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 9～16P
- ◆活動ピックアップ
議会日誌…………… 17P
- ◆お知らせ…………… 18P

定例会の審議結果

平成29年

第1回

定例会

過去最高を更新

一般会計197億7千万円
ほか各会計新年度予算案
を可決

市議会第1回定例会は、2月28日に開会し、3月24日までの会期25日間で開催しました。

初日は、32議案(議会関係議案1件を含む)を上程し、人事案件(諮第1・選第1号)については採決、その他の議案については提案説明等を行いました。

8、9、10日は、15人の議員が一般質問を行いました。

13日には、各議案に対する質疑を行い、委員会付託を行いました。

付託された各議案の審査のため、14日に予算決算特別委員会、15日に文教民生常任委員会、16日に企画建設常任委員会をそれぞれ開催しました。

24日には、各議案に対する委員長報告・討論・採決を行い、定例会を閉会しました。

平成29年度予算

地方創生の柱である人口減少対策をはじめ、「市民が安心して暮らせるまち」「孫子の代まで住み続けられるまち」を実現し、経営方針である「もっと教育」「もっと活力」「もっと交流」を「創生」というキーワードで結び、新たな価値を創造していくため、ふるさと納税の寄附金を最大限活用するなど、過去最大規模を更新する予算です。中長期的な財政動向を見極め、今後とも健全財政を堅持しつつ、将来の投資に必要な予算はしっかりと確保し、効果的な事業展開に努めます。

(新年度予算説明から抜粋)

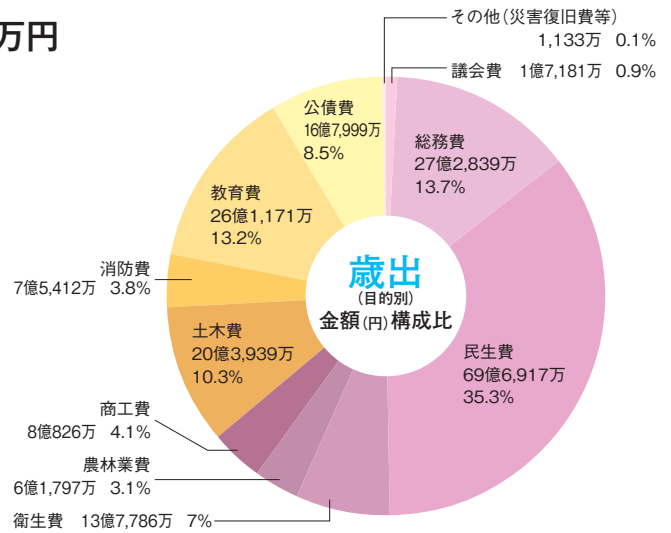
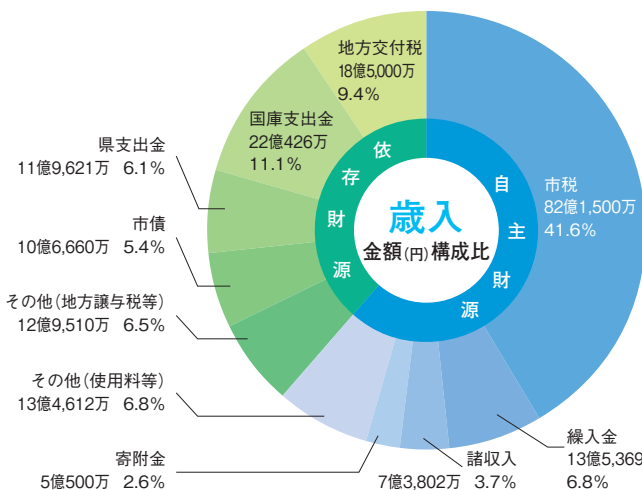
主な新規事業

- ◆西体育館整備事業(2億731万円)
…西体育館の建て替え工事を、今年度から2年間の計画で実施
- ◆のぞみ教室新築事業(464万円)
…外国人初期適応指導教室の待機者と教育環境の向上を図るため、新築設計を実施
- ◆若者委員会事業(226万円)
…市外で生活する若者を対象に、市への関心を高め、故郷への定住の促進を図る
- ◆バス路線対策事業(9,867万円)
…新しい路線・ダイヤ・バス停など、あい愛バスの路線再編等の実施
- ◆運転免許自主返納補助金(100万円)、高齢者先進安全自動車購入補助金(50万円)
…高齢者による事故防止対策として、運転免許証の自主返納者へのコミュニティバスの回数券を交付、安全装置付きの新車購入者への補助金の交付



西体育館完成イメージ

平成29年度一般会計予算 197億7,000万円



議案 クローズアップ

議第7号 美濃加茂市立図書館設置条例の一部を改正する条例

議案の概要

東図書館の平日の開館時間を、午前10時から午後8時までとする改正を行うもの。

平成25年から平日のみ試験的に閉館時間を2時間延長し午後8時までとしていたが、利用者が年々増加し、閉館時間も定着してきたことから正式に変更する。



東図書館

議第10号

平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)

議案の概要

3億2,219万3千円の増額、予算総額は220億9,321万5千円補正内容の一部…旧伊深村役場庁舎改修事業(6,771万円)

国の地方創生関連予算「地方創生拠点整備交付金」の内示により増額補正するもの。建物の改修に伴う設計、工事監理業務及び工事請負費(計5,970万円)のほか、PR用パンフレットの印刷製本費等も含まれる。

改修は、現在の資材を再利用しながら、創建当時の外観を維持する計画。また、施設内には、カフェや憩いスペースなどを設け、地域の交流施設として活用される予定。

当時の伊深村役場庁舎(昭和14年撮影)



議案の審議結果

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主 要 内 容	議決結果	議 員 名																
			渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	渡辺義昌	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄	
議第14号	平成29年度美濃加茂市一般会計予算 予算額は2ページに掲載	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○
議第15号	平成29年度美濃加茂市国民健康保険会計予算 予算額は6ページに掲載	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○
議第16号	平成29年度美濃加茂市介護保険会計予算 予算額は6ページに掲載	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○
議第17号	平成29年度美濃加茂市後期高齢者医療会計予算 予算額は6ページに掲載	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○

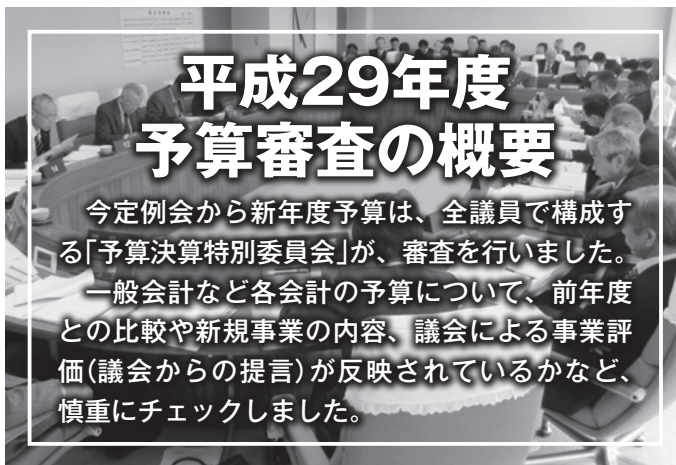
定例会の審議結果

議案等の審議結果

全会一致で承認・可決・同意された議案等

議案番号	議案名	主な内容
承第1号	専決処分の承認を求めることについて 平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第7号)	2,791万7千円の増額、予算総額は217億7,102万2千円 市長選挙及び市議会議員補欠選挙に係る費用、新議員の議員報酬、障がい者支援施設送迎用ワゴン車購入などの増額補正
承第2号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	行政不服審査法第9条に規定する審理員として、外部から非常勤職員を登用するため、所要の改正を行うもの
議第1号	美濃加茂市職員団体の登録に関する条例	職員団体の登録の申請を行うために必要な事項を定めるもの
議第2号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	指定管理者制度の運用等に関することについて、美濃加茂市指定管理者評価委員会の所掌事項に追加することに伴い、所要の改正を行うもの
議第3号	美濃加茂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正により、育児休業等に係る子の範囲の拡大が規定されたことに伴い、所要の改正を行うもの
議第4号	美濃加茂市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の規定に基づき、可茂広域公平委員会の業務の状況について、報告すべき事項、報告時期等を新たに規定するため、所要の改正を行うもの
議第5号	美濃加茂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	保健衛生事業に係る医師等の診療報酬及び手当の額の改訂に伴い、学校医等の手当等の額について、改正を行うもの
議第6号	美濃加茂市税条例等の一部を改正する条例	特定非常利活動促進法及び地方税法の一部改正に伴い、条例の改正を行うもの
議第7号	美濃加茂市立図書館設置条例の一部を改正する条例	東図書館の平日の開館時間を、午前10時から午後8時までとする改正を行うもの(詳細は3ページ)
議第8号	美濃加茂市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例等の一部を改正する条例	小学校の児童を対象とした放課後児童健全育成事業、乳幼児等を対象とした一時預かり事業、病児保育事業に係る保育料等について、民法に基づいた私債権と位置付けるため、条例を改正するもの
議第9号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例	地方税法の一部を改正する法律及び所得税法等の一部を改正する法律の一部施行により、国民健康保険料の収入の額の算定方法等が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの
議第10号	平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)	3億2,219万3千円の増額、予算総額は220億9,321万5千円 ふるさと納税推進事業、旧伊深村役場庁舎改修事業(詳細は3ページ)、長良川鉄道経営安定支援事業などの増額補正
議第11号	平成28年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第2号)	134万8千円の増額、予算総額は66億489万5千円 財政調整基金の利子配分額を基金に積み増しする増額補正
議第12号	平成28年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第3号)	保険事業勘定102万5千円の増額、予算総額は38億8,301万4千円介護給付費準備基金の利子配分額を基金に積み増しする増額補正
議第13号	平成28年度美濃加茂市後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	946万9千円の増額、予算総額は5億3,095万円 保険料徴収額が見込みより増加したため、増額分を後期高齢者医療広域連合へ納付するための増額補正
議第18号	平成29年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計予算	予算額は6ページに掲載
議第19号	平成29年度美濃加茂市古井財産区会計予算	
議第20号	平成29年度美濃加茂市山之上財産区会計予算	
議第21号	平成29年度美濃加茂市水道事業会計予算	
議第22号	平成29年度美濃加茂市下水道事業会計予算	
議第23号	市道路線の廃止	
議第24号	市道路線の認定	市道塚原坂下線ほか3路線の認定
議第25号	可茂広域行政事務組合の解散に関する協議	可茂広域行政事務組合を平成29年3月31日限り解散することにより、関係市町村及び関係一部事務組合と協議することについて、議決を求めるもの
議第26号	可茂広域行政事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議	可茂広域行政事務組合の解散に伴い、組合の保有する財産の処分の方法を関係市町村及び関係一部事務組合と協議することについて、議決を求めるもの
議第27号	可茂広域行政事務組合の解散に伴う事務の承継に関する協議	可茂広域行政事務組合の解散に伴い、組合で執行していた事務における解散後の承継方法を関係市町村及び関係一部事務組合と協議することについて、議決を求めるもの
議第28号	電子情報処理による戸籍事務の委託に関する協議	電子情報処理による戸籍事務について、各務原市、山県市及び下呂市と共同処理するための委託に関する規約に基づいて協議をするため、議決を求めるもの
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う委員の推薦(西田正幸氏 再任)
選第1号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約第8条第2項の規定により選挙を行うもの(森弓子議長 当選)
—	議席の指定及び一部変更	市議会議員補欠選挙に伴う議席の指定(渡辺義昌議員を新たに5番とする)及び一部変更(5番議員から14番議員までを1番ずつ繰り上げ)
—	美濃加茂市議会常任委員会委員の選任	渡辺義昌議員を企画建設常任委員会委員に指名
—	美濃加茂市議会特別委員会委員の選任	渡辺義昌議員をまちづくり特別委員会、予算決算特別委員会、新庁舎建設特別委員会委員に指名

予算審査の概要



平成29年度 予算審査の概要
 今定例会から新年度予算は、全議員で構成する「予算決算特別委員会」が、審査を行いました。一般会計など各会計の予算について、前年度との比較や新規事業の内容、議会による事業評価(議会からの提言)が反映されているかなど、慎重にチェックしました。

《一般会計》

問 歳入に、可茂特別支援学校からの学校給食センター負担金が計上されていない理由は、

答 これまでは可茂特別支援学校の給食にも対応してきたが、児童・生徒、先生の増加により対応ができなくなったため、計上されていない。可茂特別支援学校は、民間事業者へ給食を発注すると伺っている。

問 旧生物工学研究所跡地の財産売却の計上がない理由は、

答 社会医療法人厚生会との協議が、予算案上程までに調わなかったためである。5月末までに仮契約を締結し、第2回定例会に契約締結議案の上程を考えている。金額は約9億8千万円を予定している。なお、契約は、医療施設建設を目的とする譲渡で、買い戻し特約を付けることを予定している。

問 飛騨川・木曾川多様な交流機会創出事業について、流域市町村の連携及び体験プログラムの内容は、

答 事業は、本市を中心に、下呂市等6市町村と連携し実施するもので、体験プログラムは、今後ワークショップ等で話し合いを進め、市町村からの案も参考とし、内容を決定したいと考えている。また、事務局の運営は、民間機関への委託契約も考えている。

問 地域活性化支援の内容は、

答 ANA総合研究所との連携により、平成28年度は、航空機内誌での本市の情報掲載、大都市のイベントでの物産販売等を行った。平成29年度は、中部国際空港売店の特産品の出品、本市へのモニターツアー開催を検討している。

問 男女共同参画事業について「イクボス」推進への取り組みは、

答 まずは市役所が、男性の育児参加と働き方改革に理解を示し、市内事業者や各家庭にも意識啓発を進めていきたい。できれば新年度早々にもイクボス宣言を打ち上げ、具体的

な取り組みを示していきたい。

問 債権回収業務の内容は、

答 予算としては、弁護士への委託料が主である。委託内容は、メール相談、面談相談、私債権回収である。効果として、滞納繰越分収納率が、前年度比約4.8%上昇、滞納繰越分の収納額の約1,400万円増加につながっていると考えている。(平成29年1月末現在)なお、生活困窮者の場合は、執行停止処分のほか、特別滞納整理対策会議で福祉課と連携している。

問 ICT保育事業の推進は、

答 平成29年度は、事業の定着及び入力したデータの活用に加え、健康課と連携し、母子手帳や健診データとのリンクも検討していく。

問 病児保育事業の状況は、

答 平成29年2月末現在で、のべ125人が利用しており、うち71人が、木沢記念病院内「プーさんの部屋」を利用してしている。そのほかは、広域連携協定に基づき他市の施設を利用してしている。今回、太田病院で新たに病児保育事業を開設する準備が進められており、市内2カ所を受け入れが可能となる予定である。

問 学童保育待機者解消事業の内容は、

答 小学4年生以上の児童の放課後居場所づくりを、地域で行うモデル事業として、太田地区1カ所と古井地区1カ所で行う予定である。

問 放課後児童健全育成事業を複数の事業者へ委託する考えは、

答 事業は、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)と平成32年まで契約している。現在は、市が事業を直接行っているが、民間事業者による提案があれば、補助金交付等を含め考慮していきたい。

問 ペット等適正管理事業について、飼い主不明猫不妊手術補助金の交付の対象は、

答 地域猫活動団体や地域ボランティアによる事業実施を想定している。このほか、可茂保健所、県獣医師会とも連携していく。



物産販売の様子(東京 霞が関)

予算審査の概要

問 公的病院補助金が減少した理由は。

答 制度改正により、公的病院補助金に対する特別交付税が減額されたため、平成29年度からは、周辺市町村による利用者割での按分負担をお願いしてきた。しかし、加茂郡各町村以外から賛同が得られなかったため、加茂郡各町村分と本市分の負担金を合わせて補助金として交付することとした。

問 学校給食地産地消推進事業を拡大していく考えは。

答 米は概ね市内産で賄うことができるが、野菜は大量に均一なものを納めることが難いため、JAとの協議により、ある程度の量を冷蔵保存できるようにする予定である。また、市の農産物限定の補助も考えており、少しでも市内産の農産物を納品していただけるよう検討している。

問 みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業ついて、交流人口増加と定住人口増加への取り組みは。

答 平成29年度は、交流だけでなく移住・定住を意識したプログラムを考えている。まずは資源発掘を行い「くらし」を意識した体験型プログラムを実践したい。

問 太田宿本陣庭園整備の状況は。

答 過去に行った工事費の合計が現在までに389万9,664円を支

出しており、平成29年度中の公開を目指している。借地契約は期限を設けていないので、双方申し出等がなければ自動継続となる。

問 かわまちづくり整備事業の今後の予定は。

答 平成28年度当初、国の補助金が交付されなかったことから工事の発注が遅れたため、中之島公園の全施設の供用開始時期として、平成30年4月を目指して進めている。



現在の中之島公園(4月6日撮影)

問 災害対策に使用できるドローンを購入する考えは。

答 高解像度カメラ装備のある機体を購入する予定である。操作についても、防災安全課の職員に限らず、

他課の職員も使えるよう研修を行い活用していきたい。

問 若者委員会事業における、地域人材育成の内容は。

答 18歳以上の若者を、もっと社会に目を向け、本市に関心を持つて積極的に関与する人材として育成していくものである。遠方に住む本市出身の若者にアプローチし、本市に関心を持ち、遠方からでも本市とつながりを持つことで、Uターンや定住につなげたい。また、地域活性化スクールの取り組みともあわせ、若者が市内企業に目を向け、企業も若者の発想に期待する関係づくりをしていきたい。

問 牧野ふれあい広場の整備の進捗状況は。

答 平成29年度は基本設計を行う。西側はふれあい広場、中央は陸上競技場を中心とした多目的な広場とする構想に変更はない。そのため、西側の福祉農園は、平成28年度で終了する。

問 公債費について、将来負担比率0%は堅持されていくのか。

答 現在、将来負担比率は0%であるが、実際はマイナス20%ほどである。公債費残高1億円に対して1%と考えると、残高が20億円程度に増えれば0%を維持できなくなる。これらを目安に公債費残高を抑制していきたい。

問 《国民健康保険会計》

問 特定健康診査の推進状況は。

答 受診率が30%を下回る状況にある。未受診の理由では、医者に通院しているから受けないというのが一番多かった。そのため、かかりつけ医が行う検査も特定健診の情報として利用できるような取り組みを平成29年度から始める準備をしている。

〈会計別予算表〉

会計		平成29年度(円)	伸率(%)
一般会計		197億7,000万	0.9
特別会計	国民健康保険会計	65億4,576万	0.6
	介護保険会計	38億9,153万	3.9
	後期高齢者医療会計	5億4,451万	4.5
	介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計	4,087万	10.1
	古井財産区会計	100万	-21.7
	山之上財産区会計	102万	-1.0
企業会計	水道事業会計	21億3,451万	3.2
	下水道事業会計	40億5,204万	1.1
合計		369億8,124万	1.4

委員 会 審 査 の 概 要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

文教民生常任委員会

〔専決処分の承認を求めることについて〕平成28年度一般会計補正予算(第7号)〕

〔購入した介助用ベッドについて〕の詳細は。

〔折り畳み式でコンパクトに収納できるものである。総合福祉会館内に設置し、主に災害時の福祉避難所での利用を想定している。〕

〔ひまわりの家利用者送迎用車両について、購入した車両の仕様は。また、現在の車両台数で利用者の送迎は十分か。〕

〔購入した車両は、従前の車両と同様の8人乗りワゴンタイプである。送迎の状況については、現在所有する2台の車両で十分対応できている。〕

〔市立図書館設置条例の一部を改正する条例〕

〔東図書館の閉館時間が、正式に午後8時となるが、改めて周知を行うのか。〕

〔閉館時間の延長は、平成25年度から試験実施し、十分に効果が得られ、今回正式に決定するものであるため、周知は特に行わない。〕

〔夜間帯の職員配備を含め体制に変更はあるのか。〕

〔職員体制も特に変更はないが、夜間帯の男性職員配備について、今後検討していきたい。〕

〔放課後児童健全育成事業の実施に関する条例等の一部を改正する条例〕

〔新設される「古井小学校区第2放課後児童クラブ」の支援員の体制は。〕

〔既存の放課後児童クラブと同じ委託業者(シダックス大新東ヒューマンサービス㈱)と、別途、単年度契約を結んだ。施設は4室に分かれているため、各部屋2人体制で業務にあたる。〕

〔病児保育事業の実施に関する条例の一部改正に関連して、太田病院にて開設される病児保育は、どのように行われるのか。〕

〔同院にて、地域型保育事業所「あゆみ保育所」が認可され、病児保育は、その一角で行われるが、通常の保育とは完全に隔離した状態で実施される予定である。〕

〔平成28年度一般会計補正予算(第8号)〕

〔旧伊深村役場庁舎改修事業について、記録用撮影及びDVD作成の内容は。〕

〔施設の改修過程を撮影するなど、メイキングビデオの作成を予定している。映像の公開については、市民ワークショップや施設見学者、歴史を振り返る企画展などの際に活用する考えである。〕

〔施設完成後に予定しているカフェの運営方法は。〕

〔施設の管理・運営に関する部分については委託し、カフェでの売り上げ等の収益の部分は、受託者の収益とする考えである。〕

〔自立支援費介護給付事業について、増額補正に至った理由は。〕

〔放課後等デイサービスなどが、利用者全体で利用日数が見込みより多く増加したため補正したものである。〕

〔平成28年度国民健康保険会計補正予算(第2号)〕

〔財産運用収入が299万8千円と、近年に比べ増額した理由は。〕

〔他の基金と一括し、利回りの良い公債等を運用していることによる。〕

〔来年度から国保運営が、都道府県化されるが、今後の基金の取り扱い。〕

〔県へ帰属することはないため、従前どおり運用していく。〕

〔可茂広域行政事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議〕

〔可茂ふるさと基金の詳細と、これまでの実績は。〕

〔基金は、中濃地方を拠点とする地域の振興整備事業に充てる目的で設置された。平成25年度には、消防救急デジタル無線整備事業に、可茂地域拠出金を4億3,272万円活用した。〕

〔可茂広域行政事務組合の解散に伴う事務の承継に関する協議〕

〔これまでの申し立て件数は。〕

〔近年では、七宗町の事案が2件あった。〕

ひまわりの家利用者送迎用車両



委員 会 審 査 の 概 要

企画建設常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて》平成28年度一般会計補正予算(第7号)》

問 選挙費について、市長選挙費と市議会議員補欠選挙費の選挙公営費における金額差の理由は。

答 予算編成において、それぞれの選挙の候補者数を想定し、計上したものである。見込んだ選挙ごとの候補者数が異なるため、選挙公営費全体の経費としても金額差が生じる。

《専決処分の承認を求めることについて》市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例》

問 行政不服審査法の改正による変更点は。

答 改正により、新たに審理員を設けることになった。本市では、審理員に弁護士を登用し、非常勤の特別職職員として配置することで、公平性を保つ審理が行える形とした。

問 審理員の報酬額を1時間1万円とした根拠は。

答 想定される審理時間や他市の例を勘案し規定したものである。

《市職員団体の登録に関する条例》

問 現在の本市では、任意の職員会

が組織されている状況であるが、登録される団体はあるのか。

答 職員会は、職員組合ではないため、現在のところ登録される団体はない。今後において組織された場合に対応できるよう、今回条例改正する。

《市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例》

問 新たに委員を追加したが、定数を5人以内とした理由は。

答 対象とする施設に対し、必要最低限の人数を確保する必要があるためである。ただし、施設によっては、5人を下回る場合もあり得るため「以内」としている。

《市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例》

問 育児休業することができない職員として「任期を定めて採用された短時間勤務職員」が追加された理由は。

答 同職員の性格上から、育児休業にそぐわないため対象としない。これまで、同職員の登用実績はないが、採用を行う際には、条件を説明することになると考える。

《市税条例等の一部を改正する条例》

問 法改正による変更内容は。

答 軽自動車税が種別割と規定されたものである。なお、税率について

は従前と同等となる。

問 市民への周知は。

答 納税通知書や広報等を通じて周知していく。

問 法人市民税の法人税割の一部が、地方法人税として国税化されることによる影響は。

答 地方交付税として同程度の額が交付される見込みであるが、交付税を算定する基準が、年ごとで異なるため、同額が補てんされるかは未定である。

《平成28年度一般会計補正予算(第8号)》

問 ふるさと水基金積立金について、残高及び活用状況は。

答 残高は、平成28年度末で1,094万8,600円を見込んでいる。これまで、基金を活用した例はないが、高齢化が進む中山間地の農業振興のため、資材の支給やPR活動等で活用していきたい。

《電子情報処理による戸籍事務の委託に関する協議》

問 条文中に規定する「構成市の長で行う連絡会議」の状況は。

答 所管課長が出席し、適宜行われている。

問 情報漏えいの対策は。

答 事業主体である各務原市とともに徹底していく。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方々からいただいたご意見を掲載します。(初日、一般質問、質疑の日)

- ・市長の新年度一般会計予算説明が、頼もしい内容であった。特にコミュニケーションパスを利用する身にとつては、便利になり料金も下がることが喜ばしい。
- ・私は初めて傍聴しました。色々な質問を聞き、市政のあり方なども聞けて有意義でした。
- ・ふるさと納税で得た寄附金の使い方、来年度の目標、里山千年構想の状況等知りたかった事が聞けた。
- ・テレビで見る国会中継のように居眠りしている人もなく、我々の選んだ代表者たちに好感が持てました。市民のために頑張ってください。
- ・議員の方の追及が少なかったと思うので、もっと意見を聞いてみたいと感じました。
- ・インターネット中継があるためか、傍聴者数が少ないのが残念でした。
- ・久しぶりに傍聴しましたが、議会運営(一問一答制等)が改善されているのがよかったです。傍聴者に対しても、議会の資料配布があり、分かりやすいです。

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、すべての質問と答弁はインターネットにて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



森弓子議長

■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

■視聴方法 [トップページ](#) ▶ [会議名から選ぶ](#) ▶ [平成29年第1回定例会](#) ▶

[3月8日・9日・10日 市政一般に対する質問](#)

■会議録検索システム <http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



高井

厚
議員

消防団活動の充実

問 火災や水害など、自然災害発生時の対応・予防のための啓発や、地域行事への協力など、多岐に亘る消防団活動。消防団員の皆様には感謝と敬意の気持ちで一杯である。

平成22年度市自治連合会から「今後の消防団活動の在り方」と題した提言書、翌23年度には加茂野町自治会長会から、同様の改革案が出されている。

内容は①消防団組織の見直し
②操法訓練及び操法大会の抜本的見直しなど5項目であった。背景には、消防団への理解不足と時代の流れによる団員確保の困難さがあり、今もそれは続いている。

団員確保についての当局の考えと今日まで改善されてきた内容は。

答 当時回答したとおり、訓練日数を30日以内、終了時刻を午後10時までとして、現在実施している。また、消防団活動について、情報不足や誤解があるとの指摘については、その対策として、消防団に係る情報を広報、ホームページ、



消防団活動の様子

フェイスブックやブログなどで発信している。平成27年度は約90件、今年度は今までに68件の発信をしており、要望に沿う形で運営方法を変えてきている。今後も消防団活動に支障をきたさないよう、改善できる点については対応していきたいと考えている。

問 操法大会に分団が輪番で出場することに協議したか。

答 輪番制により、確かに団員の拘束時間の軽減は図れるものの、県大会に出場すればよいということと、団員の士気高揚が図れるのかといった意見があるなど、現在導入に至っていない。

問 団員の確保に向け、年齢の引き上げをどう考えるか。

答 消防団員の任命にあたり、条例で年齢の上限は設けていない。今年度では、すべての火災に出動する1班、2班の団員では47歳の団員もいる。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



酒向 信幸
議員

生活習慣病

問 糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病、または重症化による糖尿病合併症・心疾患脳血管疾患等の予防のための取り組みは。

答 現在「とびだせ保健師プロジェクト」として取り組んでいる。平成28年度2月末実績として、高血糖者への訪問指導が88件、どこでも出前します講座を9回開催、ウォーキング大会は5回開催し参加者910人、減塩レシピコンテストの実施とレシピ集2千部を配付し、だれでもできる健康教室を12回開催した。また、昨年11月に生涯学習センターの6階に、健康ステーションを開設した。この施設は、運動だけでなく食事等健康全般に対応できる健康づくり拠点であり、開設以来3カ月で延べ1,700人が利用している。

問 健康診断で女性の20・30歳代の受診率が低くなっている。働く女性や子育て世代への対応は。

答 20・30歳代の女性が受診できる検診は、子宮頸がん検診と骨粗しょう症検診、菌周病検診の3つであり、全ての対象者に対して「成

人健康診査の概要」を送付し案内している。

検診率を引き上げるため、バス集団検診と医療機関個別検診のどちらかを選択して申し込めるようにしている。バス集団検診等においては、託児サポートも行って、初めて検診対象となった20歳の人に無料クーポンを配付するなど、受診のしやすい環境づくりに努めている。

健康ステーション



防災関係協定書・覚書

問 災害時に締結先が的確に機能できるのか。また、機能できるように所管である部署との協議会等は開催されているのか。

答 締結時の内容がそのまま、接点もあまりないことが想定されるので、今後、所管課に対して、協定書の中身の再確認と災害時の団体との繋がりを維持するよう指示する。



牧田 秀憲
議員

ふるさと納税

問 岐阜県下第1位！※本市のふるさと納税の魅力とは。

答 本市へのふるさと納税が増加した要因としては、ふるさと納税のポータルサイトを活用して、寄附窓口の拡充を図ったことのほか、一度納税された方がリピーターとなったこと、市内事業者の方々が1件ずつ真摯に対応していただくなどの様々な協力や、新商品の開発により、返礼品を200品目以上に拡充させたことが功を奏したと考えられる。また、その中で市長のいろいろな魅力も影響していると考えている。

※平成28年4月～12月のふるさと納税額が8億8,444万9千円、寄附件数が2万3,634件と県内トップであった。(市独自調べによる)

問 本市の方から他自治体へ行われたふるさと納税額は。

答 平成27年実績で約3,161万円、市税収入への影響額は、約1,394万円となっている。

平成28年中は、ふるさと納税ワンストップ特別適用者数から類推

すると、約6,200万円、市税への影響額が約2,700万円と考えられる。

問 他の自治体へのふるさと納税によって生じる税金の減収分は、どの様な形で、いつ頃、どれくらい戻ってくるのか。

答 市民税の減収分の75%は、基準財政収入へ算定されるため、次年度の地方交付税交付金によって補てんされる仕組みとなっている。



平成28年度ふるさと納税返礼品カタログ

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



前田

孝 議員

新年度予算収入及び拡大事業

問 新年度予算において、個人市
民税が前年度比1億1千万円増
加している要因は。

答 平成27年度の当初納税義務者
が、対前年度比526人増、28年
度も、対前年度比720人増と大
きく伸びているため、29年度は、納
税義務者の増加を念頭に算定した。

問 バス路線対策事業で、75歳以
上や免許証返納者の方々に対し
て、無料バスを発行する考えは
ないか。

答 あい愛バス再編運行に伴い、
運賃を1回100円とする計画が
ある。このほか100円券11枚を
綴った回数券を千円で、1カ月
3千円の定期券や65歳以上は、1
カ月2千円の定期券を発行予定で
ある。また、65歳以上の方が、運
転免許証を自主返納された場合
は、1万円分の回数券を、5年間
交付する計画であるため、提案の
無料バスの発行は考えていない。

防災行政無線個別受信機設置

問 FM放送やケーブルテレビを
利用した情報伝達の内容は。

答 放送事業者と連携し、防災行
政無線で放送した情報をラジオや
ケーブルテレビで聞けるようにす
るものである。

問 スマートフォンの利用につい
てはどうか。

答 スマートフォンにFMからの
アプリをダウンロードすることで、
緊急災害情報などのメールが
受信できる。

問 防災ラジオは、全戸に貸与に
すべきと思うがいかがか。

答 貸与は、難聴地域世帯や希望
する高齢者世帯など1,600世
帯を計画している。

市長選挙

問 選挙は、市政運営に対して、
政策や実績などを市民に問うの
が本質である。個人的問題を選
挙口実とする大義は何か。

答 二審で有罪判決が出た中、引
き続き市長職を担うためには、一
度、市民の皆様へ信を問わなけれ
ばならないと考えた。

問 市政を正すと立候補した批判
票や白票等の重みを真摯に受け
止めるべきと考えるがいかがか。

答 多くの皆様に支持をいただけた
と感じている。今後もしっかりと市
民の皆様の意見に耳を傾け職務を
全うしていきたいと考えている。



坂井

知足 議員

文化会館の今後のあり方

問 文化会館は、東日本震災以
後、吊り天井や耐震性において
指摘を受けている。今後のあり
方についての考えと、改修や補
強工事にはどれだけの経費が必
要となるのか。

答 今後のあり方について「文化
会館あり方検討委員会」では、文
化会館の果たす役割は大きく、速
やかに必要な改修と改善を行い、
市民の多様な要求に応えるよう求
めている。工事については、来年
度に基本計画を策定し、耐震補強
や天井改修工事を実施していく予
定であり、経費は約5億円が必要
になると見込んでいる。

旧伊深村役場庁舎の保存と活用

問 旧伊深村役場庁舎が、昨年11
月に国登録有形文化財に登録さ
れた。この度改修されることに
なっているが、今後、どのよう
に活用していくのか。

答 旧庁舎は、現存する唯一の戦
前に建てられた建物であり、昭和
初期の地方公共建築の技法を今日
に伝えるものである。また、長年

にわたり地域の皆さんに親しみ利
用されてきた建物であり、保存、
活用していく意義深い建物であ
る。改修後の活用については、外
観を活かしたカフェスペースや憩
いスペース、展示
スペース
などを設
け、交流
の場とし
て賑わい
を創出し
ていきたく
と考えて
いる。



旧伊深村役場庁舎

日本昭和村の今後の管理運営等

問 開園以来、入場者数が年々減
少している平成記念公園日本昭
和村の今後の管理運営と、入場
料の無料化等への考えは。

答 現在、県の平成記念公園活性
化協議会において、活性化基本計
画の策定のため、園内施設の整備
や公園の名称、未供用地の活用な
どが協議されている。

また、入場料の無料化や各施設
の利用料金など、来園者が利用し
やすい料金体系の見直しなども検
討されている。

市政一般に対する質問と答弁



村瀬 正樹
議員

旧伊深村役場庁舎

問 改修方法と改修後の維持管理は。

答 特徴的な外観を保存するため、解体調査を行いながら現在の資材を再利用し、外観の復元を行い、平成30年3月完成を見込んでいる。

改修後は、カフェスペースを運営する方を募集し、施設の管理運営も委託する予定。なお所管は、まちづくり課となり、維持経費は、同課で予算計上していく。

学校給食費

問 食材価格の高騰による影響及び給食費収支の現状と今後の対策は。

答 北海道の大雨、九州の地震と長雨の影響により、野菜価格等が高騰し、昨年10月末で一食当たり10円の赤字となった。

児童生徒に必要なカロリーの確保、栄養バランスを考え、献立を工夫してきたが、3月末で約500万円、1食当たり5円の赤字が見込まれる。

消費税が5%から8%にアップ

された際に値上げを見合わせた市の多くが、来年度、再来年度に値上げを検討している。本市も安心安全で、おいしい給食を提供していくため、給食費値上げの検討をしていきたい。



学校給食の例

市長選挙の経費

問 1月の市長選挙及び市議会議員補欠選挙と、5月予定の市長選挙の経費の比較は。6月以降にあり得る市長選挙の経費を考慮した上で、藤井市長の5月市長選挙出馬の有無は。

答 県知事選挙と重なったため経費が按分され、市長選挙は約687万円、市議会議員補欠選挙は約773万円であった。なお、5月の市長選挙は2,218万円を予算化している。

出馬については、今定例会に集中することが大切と考え、今は言及しない。費用については、考えるべきだが、市政を運営する面からも、声なき声を受けとめることも大切である。そのためにも選挙は必要であるが、経費については今後考えていく。



柘植 宏一
議員

市長選挙と新聞報道

問 1月の市長選挙後、市外の一般市民から「税金の無駄使い」「美濃加茂市民の気が知れない」「お金は貰っているに違いない」など、冤罪である市長取崩事件や、それに伴う出直し選挙に対する不十分な認識に基づく意見を少なからず聞いた。市長の逮捕以来、新聞をはじめとする報道機関の有罪ありきの誤った報道が、まだまだ根強く残っていることを痛感させられた。投票日翌日の中日新聞朝刊において、昇秀樹名城大学教授の「三権分立に抵触の恐れ」とするコメントについての所感は。

答 「三権分立」という全く的外れの憲法論議を持ち出したのが、どうして三権分立の問題になるのか、全くもって理解しがたいコメントだというのが率直な感想である。

児童保育待機解消事業としての地域連携モデル事業

問 事業の内容と将来的方向性は。太田地区と古井地区の地域の

方々に、4年生以上の児童の放課後居場所づくりをモデル事業としてお願いしたいと考えている。これを成功事例として、各学校区において、地域で子どもを育てる、地域に誇りを持つ子どもを育てる、む事業に拡大していくことを期待している。



児童保育

学校教育と放課後等デイサービスの連携

問 放課後等デイサービスは療育支援を目的とするものである。学校との連携の現状は。

答 現状では、双方の連携が十分であるとは言えない。学校の職員と放課後等デイサービスの職員とが連絡を取り合い情報交流し、お互いの現場を参観し合ったりするなど、連携を図っていききたいと考えている。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



渡辺 義昌 議員

ふるさと納税

問 ふるさと納税の申込状況と多い返礼品、申込者の地域等はどのようになっているか。

答 申込状況は、2月末現在で約2万5千件、約9億6千万円となっている。また、申込件数の多い返礼品は、飛騨牛、シャワーヘッド、ベルメゾンお買い物券等となっている。

寄附は地域別に、首都圏からの寄附が1万2千件、寄附金額が約4億5千万円となっており、全体の約49%。次いで、名古屋圏、関西圏からの寄附が各々19%程度となっている。

問 ギフト券などについて、転売等が問題となっているが、本市の考えは。

答 返礼品としてベルメゾンお買い物券の提供を受けている。お買い物券に付したID及びパスワードにより使用することとしており、転売禁止としている。

市としては、ふるさと納税により、市内にある千趣会(ベルメゾンロジスコ)の雇用創出等を期待している。ふるさと納税制度の本

旨や総務省からの改善要請の主旨を踏まえながら、制度がある以上、最大限に活用したいと考えている。

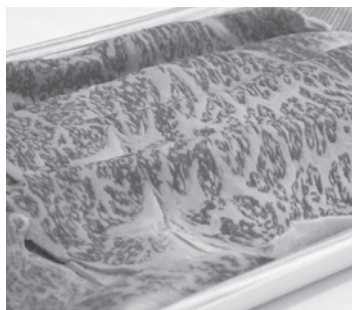
※その後、総務省の通知を受け、平成29年度からお買物券の取り扱いを廃止した。

中学校の自転車通学路

問 東中学校西の道路や自動車・自転車の交通量の多い古井街道について、自転車通学路と分かるような表示ができないか。また、自転車通学路の通行について、どの様に指導しているか。

答 当該区間の指定通学路について、路肩部分のカラー着色舗装の施工により、通学する生徒の交通安全を図っていく。

自転車は、原則左側通行するよう指導しており、該当の道路についても、左側通行をすることとして指導している。



返礼品で人気の高い飛騨牛(イメージ)



金井 文敏 議員

視覚障がい者用誘導ブロックの設置基準

問 点字ブロック上の無断駐輪が問題になっている。市内における点字ブロックの状況は。

答 歩道のある歩行者の多い道路、美濃太田駅と市役所などの公共施設を結ぶ道路について、重点的に設置している。地域住民等の情報から現地調査し、修繕等の処置をしている。

問 視覚障がい者が安心して通行できる環境を目指す本市としての今後の計画は。

答 美濃太田駅周辺地区バリアフリー整備計画の中で、旧国道248号の国道41号バイパス交差点から下古井交差点区間の市道島深田線を、点字ブロックの整備路線として重点的に整備している。

市営住宅の入居基準

問 募集は年1回で、2月に応募しても、入居は翌年になる場合がある。近隣の市町は、随時募集しているところが多いようにだが本市の考えは。

答 所得も低く、真に住宅に困っ

ている方が入居出来ることや退去後の改修工事の完了の見込まれる時期と、翌年度4月に入居できる手続き期間を考慮して年1回としている。

問 非常に重い責任を負う連帯保証人は、市内在住の2名が必要とされている。それゆえ、ちよつとも引き受けてもらえない。やはり両親をはじめとする親族が中心になるが市外在住では条件を満たさないが、市の考えは。

答 条例・規則により①市内に住所を有する親族で、入居者と同居しない者②入居者と同様以上の収入があり、入居者の債務に対する保証能力を有する者③市営住宅その他公営住宅の入居者でない者④未成年者、成年被後見人、被保佐人又は破産者でない者としている。



整備の進む点字ブロック

市政一般に対する質問と答弁



渡辺 孝男
議員

交通安全の推進

問 ボランティアで子どもの見守りをされている方が、事故に遭われた際の保障は、どの様になっているか。

答 交通安全協会の各支部役員については、加茂地区交通安全協会を取りまとめて保険に加入している。また、各学校区で活動されているPTA主体の見守り活動については、それぞれの団体での対応となっている。

問 交差点の人身事故防止対策として「歩車分離式信号」*があるが、本市も公安委員会に提案してはどうか。

答 市内における設置状況について、加茂警察署に確認したところ、41号美濃加茂バイパスに4カ所設置されている。危険度の高い信号交差点等に、今後、設置を要望していきたい。

*矢印等信号の指示を利用し、歩行者と車両を交錯させない(少なくとも)信号表示をするもの。

成年後見制度の取り組み状況

問 制度を十分に機能させるため

には、近隣自治体と連携し運営したほうが効率が良いと考えるが、本市の考えは。

答 成年後見制度の利用が望ましい方(認知症・精神障がい者等)、身寄りがなく扶養者の確保が困難な方、同居確保が困難な方等の権利擁護支援対象者が増えていくことは明らかであり、権利擁護支援体制の整備は必要であると感じている。

平成28年度、福祉課と長寿福祉課間での協議、社会福祉協議会との協議等を重ね、市の権利擁護支援体制の整備を目指しているところである。こうした状況は、近隣の自治体も同様であるとの情報は共有しているところである。

現時点では、今後の動きは具体的にないが、まずはそれぞれの自治体が体制を整え、広域の成年後見センターを共視しつつ研究していく考えである。



市内交差点の様子



日置 祥子
議員

国民健康保険

問 平成30年度から、制度が都道府県化されるにあたって、今後のスケジューリングは。

答 制度改正により、県と市町村が共に保険者となる。岐阜県では、市町村の保険料率の統一化は図らないが、県に支払う納付金が大きく影響する。予定では、今年10月から次年度の県への納付金算定が始まり、翌年1月末に納付金額が確定される。保険料率算定は、10月を目途に市国保運営協議会で論議され、3月議会で予算等を決定する。

問 市民が大変な思いで支払ってきた国保料を、市はせつせとため込んできたが、国民健康保険財政調整基金は今後どうなるのか。

答 県に没収されることはなく、今までどおり次年度に引き継がれ、県への納付金不足等に備える。

問 市長は新年度予算提案説明で、財政調整基金、一般会計の繰り入れで事業の推進をすると言われた。毎年基金繰入予算額が1〜2億円あるが、決算になると0円になる。制度改正前に、基金を投入し値下げをする最後のチャンスである。可児市では予

算を減額された。市長の考えは。
答 まず値上げしない考えでいる。制度改正の詳細が不明のため断言できないが、可児市の動向も参考に考えていきたい。

子どもの保育

問 待機児童の定義及び本市の実態は。

答 待機児童は、保育者の就労等で家庭保育できないと認定され、入園申し込みしたが、定員等の理由で入園できない児童である。本市では、平成26年18名、27年13名、28年11名(いずれも1月末現在)。すべて未満児であり、地区による偏りはない。

問 隠れ待機児童は数に入っており、実際はそれ以上と考える。本市の保育士配置状況は。

答 公立保育園では厚生労働省の児童福祉施設最低基準を満たすよう配置、加配保育士も配置しており、基準以上である。

問 保育園の施設整備計画の説明会を園ごとに実施されたが参加者は少なかった。周知はどのように行ったのか。

答 各園のお便りや市ホームページにて行った。今後は、幅広く市民へも周知を図っていく。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



佐合 広和 議員

市長の政治姿勢

問 特定業者と複数回会食した事について、現在の所見は。

答 政治家として交流を図り、情報交換を行う事は大切だと考えている。しかし、あらぬ疑いを掛けられる事となり、現在、市長である身としては、行動に気を付け、疑いを招く様な事は、慎まなければならぬと考えている。

クールビズの環で坪内道遙博士の胸像にポロシャツを着せた事

問 市の誇りである博士の胸像にポロシャツを着せた事は、著作権の侵害に当たる事が危惧され、社会通念上あまりにも軽率に思われるが、今年も着せるつもりがあるのか。

答 今回のこの事業は、温室効果ガス排出量削減目標マイナス6%をPRする目的に加え、本市に縁のある偉大な文学者、坪内道遙博士の事を多くの方に再認識していただくために実施した。実施にあたり顕彰会にはご理解をいただいた。製作者のご親族の方には、後日になったが、ご理解をいただいたので、著作権の侵害に当たらないと認識している。

また、今回の取り組みに対しては、様々な意見があることを承知している。尊厳を傷つけたと考えていないが、今年も、ポロシャツを着せるつもりはない。

「ぼくいち」の連携協定

問 「NPO法人僕らの一歩が日本を変える。」(通称ぼくいち)との連携協定などの新聞発表について「見せる化」に思えるが、所見を問う。

答 協定については、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、若者の政治的関心を高めることの必要性が増す中、若者の政治関心の向上・政治参加の拡大から生まれる社会おこしを実現することをミッションとして、主催者教育活動を展開していた「ぼくいち」と連携協定を締結した。

具体的にどのような事業を効果的に行うか、現在の地域活性化スクール事業との連携や若者委員会設置に関する要綱の制定を経て、昨年12月に「ぼくいち」と若者委員会の設立に関する委託契約を締結したところである。来年度以降も若者委員会による若者の市政参加に関する事業を展開していきたい。



渡辺 益巳 議員

新庁舎建設整備

問 本庁舎は築後56年が経過し、建物の老朽化、手狭さ、設備の機能低下、耐震性の問題などがあり、安全確保と災害に強い新庁舎の建設が求められているが、その見通しは。

答 基本計画を平成30年度に策定し、基本設計及び実施設計を平成33年度までに実施する。平成34年度から平成35年度に建設を行い、平成36年度から供用開始が出来るよう考えている。

問 建設の予定地、位置、規模の条件はどのように確定していくのか。

答 新庁舎整備基本構想策定委員会において協議し、市民ニーズを盛り込み、その答申を経て方針表を明する予定である。

旧生物工学研究所跡地の土地譲渡

問 旧生物工学研究所跡地の土地譲渡について、(仮)総合医療センターの整備に伴う社会医療法人厚生会との土地売却契約はいつか。

答 土地譲渡契約時期について

は、本年5月までに仮契約を締結し、6月の第2回定例会に本契約を上程するよう進める予定である。

公共施設総合管理計画

問 市内の公共施設で、更新・統廃合・老朽化等により、使用できない建物が多くある。管理計画の中で、前平市民プール管理棟、下古井交流センター、旧学校給食センターは、どのように対応するのか。

答 前平市民プール管理棟は、前平総合公園再整備計画により、テニスコート、野球場等全体の整備方針の中で、取り壊しを含めた計画を考えている。

下古井交流センターは、早急に除却する計画であるが、利用者も多く他の公共施設と統合できないか模索している。利用者の安全性を加味し、平成31年度までに除却を考えている。

旧学校給食センターも、平成31年度までに除却を考えており、除却工費は約4,300万円を見込んでいます。除却後の跡地再利用については、現状の道路状況では、不特定多数の人が利用する公共施設の建設は難しいため、売却も含め検討している。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



山田

栄員
議員

坪内道遙博士顕彰事業

問 太田小学校「山つばきの部屋」の活用状況及び一般市民等の見学の状況は。

答 太田小学校の授業において、総合的な学習に利用している。また、児童朗読劇の練習場所としても活用している。なお、本年度の一般来場者は24名であり、土・日曜日の見学希望者もあるが、学校職員では対応しきれないこともある。

かわまちづくり事業に関連して

問 太田小学校に隣接する逍遙公園に建立されている国定公園に関する石碑を、中之島公園へ移設する考えは。移設できれば、そのスペースを駐車場にすることは可能か。

答 設置位置は、国定公園に移設することが望ましいと考えている。今後、同公園や木曾川沿いのスポット公園などへの移設を検討する。また、石碑が移設できた場合、そのスペースを都市公園としての駐車場とすることは可能と考える。

加茂川総合内水対策事業

問 前平公園に隣接する加賀池、公園内の御手洗池の改修の考えは。

答 加賀池は、雨水調整機能を持たせた活用も非常に重要であると認識しており、今後検討していく。御手洗池は、すでに雨水調整機能があるので慎重に検討する。

問 岐阜県より返還が予定される約5ヘクタールの前平公園に隣接する畜産研究所用地についての雨水対策は。

答 用地の雨水の大部分は、南側の山手線側に流出している。畜産研究所用地の利用を検討する時点でしっかりと計画を立案していく。



国定公園に関する石碑



片桐

美良員
議員

可燃ごみと食品ロス

問 近年、本市のさざゆりクリーンパークへ搬入可燃ごみ減量化の実態は。

答 生活系可燃ごみは過去5年間で約5.5%の減少となった。事業系可燃ごみは約2.2%の増加となった。

問 宴会等での食へ残しを減らす運動推進への所見は。

答 関係課、市民や事業者などの意見を伺い検討していく。

問 循環型まちづくり条例創設の考えは。

答 条例化も考え、積極的に推進し、すぐできる運動は、明日にも始めていく。

問 学校給食残渣の処理方法と経費、平均日量は。

答 残渣は、ささゆりクリーンパークで焼却処理しており、経費は、年間78万4千円である。平均日量は、今年度42kgであり、着実に減ってきている。

問 残渣のエコフィード化(リサイクル飼料)の考えは。

答 関市や可児市では、すでに実施されている。料金等は把握しており、現在研究中である。

移住・定住促進

問 PRも重要であるが、同時に受け入れ支援体制の整備も必要と考えるが所見は。

答 現状の取り組みを継続し、施策の紹介、暮らしやすさや自然環境の良さを積極的に情報発信し推進していく。

問 三世代住居の新築や隣接地に新居を新築する場合の補助政策ができないか。

答 今後、空き家バンクを創設するときに検討していく。

問 相談窓口へ専門相談員を配置してはどうか。

答 外部人材や委託、まちづくりコーディネーターを中心に体制の充実を検討していく。

教職員の勤務体制

問 本市教職員の勤務実態はどの様に把握しているのか。

答 昨年11月の調査では、小中学校教職員の平均退校時刻は、午後7時18分であった。平均時間外勤務は、小学校が2時間41分、中学校が3時間10分であった。いずれも県平均より若干多い実態である。

問 年次有給休暇取得の指導実態は。

答 授業の日には取りにくい現状がある。夏休みなど長期休業中に取得するようにしている。

活動
ピックアップ

先進自治体を調査
文教民生常任委員会が行政視察を行いました。

2月13日、文教民生常任委員会が、幼老複合施設(京都府京都市・洛和会ヘルスケアシステム)と保育業務支援システム「Kid's View」(京都府八幡市・八幡幼稚園)の視察を行いました。

幼老複合施設は、保育所等の子ども関係の施設と老人ホーム等の高齢者施設が併設された施設です。今回視察に伺った「洛和ウイズ桂」は、小規模保育園と介護型グループホームが併設された施設でありました。子どもたちにとっては、日常の保育の中で覚えた歌や踊りを、高齢者の前で行うことで発表の場となり、高齢者も子どもたちと過ごすことが生きがいになるなど、相互に効果のある取り組みでありました。



洛和ウイズ桂



Kid's View(八幡幼稚園)

保育業務支援システム「Kid's View」は、子どもの発達状況の記録や出欠席の確認などをデータ入力し、管理するものです。以前は手書きで行われていた作業も、このシステムの導入によって、保育業務が効率化され、保育士の事務負担軽減が図られていました。

この視察から、少子高齢化に対応する取り組みの必要性を改めて認識しました。引き続き、調査・研究を行っていきます。

3月													2月								
12日	10日	7日	3日	28日	27日	25日	24日	23日	20日	19日	17日	14日	13日	12日	2日						
市功労者表彰 下米田地区まちづくり協議会 設立総会	まちづくり特別委員会	市障がい者地域自立支援協議会	可茂広域行政事務組合定例会 (可茂公設地方卸売市場組合、 可茂衛生施設利用組合、 可茂消防事務組合、 可茂広域行政事務組合)	議会だより編集委員会 (3月24日閉会)	市議会第1回定例会 (3月24日閉会)	多文化共生推進協議会	文化団体連盟研修会	坪内道遙博士をしのぶ会	議会運営委員会	中濃地域農業共済事務組合 議会定例会(関市)	美濃加茂市富加町中学校組合 議会定例会(富加町)	消防ふれあいコンサート	国保運営協議会	給食センター運営委員会	文教民生常任委員会行政視察 (京都府京都市・八幡市)	県民文化祭・ぎふ文化の祭典 「ひだ・みの創作オペラ」公演	議会運営委員会				
27日	26日	24日	23日	20日	19日	17日	15日	12日	11日	5日	3日	4月									
可茂食品衛生協会美濃加茂支部 通常代議員総会	新庁舎建設特別委員会	美濃加茂商工会議所女性会通常総会	新丸山ダム転流工着工式(御嵩町)	東海市議会議長会定期総会 (名古屋市)	市青少年育成市民会議総会	議会だより編集委員会	市体育協会理事会	自治会研修会	健康連合会定期総会	議会改革特別委員会	議会だより編集委員会	市職員辞令交付式	市緑化推進協議会	可茂地域懇談会	美濃加茂商工会議所定期総会	都市再生整備計画事業(かまちづ くり計画地区)事後評価委員会	議会だより編集委員会	都市再生整備計画事業(かまちづ くり計画地区)事後評価委員会	新庁舎建設特別委員会	木曾川右岸用水土地改良区総代会	社会福祉協議会理事会

議会日誌
(主なもの)

開会前に全員で! みのかも元気体操!!

美濃加茂市の歌にあわせて行う「みのかも元気体操」を、今定例会初日の開会前に行いました。

市内でも様々な場所で体操が行われていますが、議会においても体操を実施し、普及・啓発に努めていきます。

◆みのかも元気体操の動画は
YouTubeで
公開されています。



本会議の様子は、議会中継でチェック!!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。本会議の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末で、ぜひご視聴ください。

■ライブ中継視聴方法

市議会の開催日(右下に掲載)に、「美濃加茂市議会 議会中継」にアクセスし、トップページの「ライブ中継」をクリックしてください。本会議の様子がご覧いただけます。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

市議会議員補欠選挙結果

1月29日に行われた市議会議員補欠選挙の結果、次の1名が当選しました。



わたなべよしまさ
渡辺義昌
議席番号5番

所属委員会については、4ページをご覧ください。

編集後記

3月の議会は、平成29年度の予算を審議する重要な議会です。今回から、全議員による予算決算特別委員会により、平成29年度予算を慎重に審議いたしました。また、今定例会は、議長を除く全議員が質問に立ち、活気ある議会となりました。

地方自治を取り巻く環境も刻々と変化しており、的確に市民ニーズをとらえ、最終決定する議会としての重要性をしっかり認識し、より開かれた議会を目指し取り組んでまいります。

議会だより編集委員会も、さらに読みやすく解りやすい「議会だより」を心掛け、活動・情報発信してまいります。

片桐 美良

次の定例会の予定 平成29年市議会第2回定例会

6月 5日(月)	初 日
14日(水)	一般質問
15日(木)	一般質問
16日(金)	質 疑
27日(火)	最 終 日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は、都合により変更となる場合があります。
詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。
今回の議会だよりは、平成29年8月1日を予定しています。